

1年英語表現 解答・解説 (5月22日配信分)

ワークブック p.8-9

A (1) lent me (2) found, for (3) write, a letter (4) bought[got] me

解説 (1) (3) (4) **S+V+O (人) +O (物)** の文.

(2) **S+V+O (人) +O (物)** の文は **S+V+O (物) +前置詞 (to/for) +O (人)** の文に言い換え可能なことが多い. 前置詞が **to** か **for** かは動詞によって異なる. 「(人) に」を強調するとき, 「(物) を」が代名詞のとき, 「(人) に」の部分が長いときは, **S+V+O (物) +前置詞 (to/for) +O (人)** を用いる.

B (1) make 子どもたちはいつも私を幸せにしてくれる.

(2) leave この部屋に赤ちゃんを一人にしておかないで.

(3) name 彼らはそのサルをモモと名づけるだろう.

(4) find ロジャーが優しい人だとすぐにわかりますよ.

(5) call あなたを何と呼べばいいですか.

解説 すべて **S+V+O+C 「S は O を C にする [C と呼ぶ], etc.」** の文.

(1) make O+C 「O を C にする」

(2) leave O+C 「O を C のままにしておく」. 命令文なので主語はついていない.

(3) name O+C 「O を C と名づける」

(4) find O+C 「O が C だとわかる」

(5) call O+C 「O を C と呼ぶ」. この文では what が C.

C (1) My father gave me a watch

(2) We elected Sayaka captain

(3) tells his students interesting stories

(4) We painted the doghouse green

(5) I will choose a useful dictionary for you

(6) pass me the sugar

(7) I bought my sister a beautiful hat

(8) This coat will keep you warm

(9) My mother's words made me cheerful

解説 (1) (3) (6) (7) **S+V+O (人) +O (物) 「S は O (人) に O (物) を~する」** の文.

(5) **S+V+O (物) +前置詞 (for) +O (人) 「S は O (人) に O (物) を~する」** の文.

(2) (4) (8) (9) **S+V+O+C 「S は O を C にする」** の文.

D 解答例…There is a dog in the yard.

There is a girl in the house [by the window].

There is a man under the tree.

There are (three) cats on the roof.

There are (two) birds in the sky [over the house]. など

解説 There は be 動詞と組み合わせて「～がある [いる]」という存在を表す。There V+S ~の S が単数の場合 V は is, S が複数の場合 V は are にする。

E (1) I made a cake for

(2) Bob teaches me English / Bob teaches English to me

(3) We call this cloth a *furoshiki* in Japanese.

(4) What did you name your baby?

(5) There is no rainy season in Hokkaido.

解説 (1) make O (物) +for+O (人) 「(人) に (物) を作る」を用いる。

(2) teach O (人) +O (物) / teach O (物) +to+O (人) 「(人) に (物) を教える」を用いる。

(3) call O+C 「O を C と呼ぶ」を用いる。

(4) name O+C 「O を C と名づける」を用いる。C は疑問詞 what となるので文頭にくる。

(5) There V+S ~ 「～がある」を用いる。S が no rainy season (単数) なので V は is にする。

ワークブック p.10-11

A (1) How (2) marry (3) us the truth (4) isn't there

- 解説 (1) **How**+形容詞+主語+動詞! の感嘆文。
(2) marry は他動詞なので直後に with は不要。
(3) **tell**+O (人) +O (物) の語順。 (4) There is ~の文の付加疑問は isn't there となる。
-

B (1) The meeting didn't[did not] start on time.
(2) Where did you go during the summer vacation?
(3) Alice showed the pictures of London to her friends.
(4) What a blue sky it is!

- 解説 (1) 一般動詞の否定文は **did[do/does] not**+動詞の原形で表す。
(2) 疑問詞 **where** 「どこへ」を使った疑問文にする。
(3) **show**+O (物) +前置詞 (to) +O (人) とする。
(4) 強調したい部分が形容詞+名詞なので **What+a[an]**+形容詞+名詞+主語+動詞! とする。
-

C (1) smell (2) do you, Yes, do (3) Let's take
(4) seemed[looked/appeared], found, kind[gentle/nice]

- 解説 (1) **smell** 「～のおいがする」を用いる。
(2) 否定文の付加疑問は、否定文+, 肯定の疑問形?. 答えの内容が肯定なので **Yes** で答える。
(3) **Let's**+動詞の原形で「～しよう」という勧誘を表す。
(4) **seem[look/appear]** 「～のようだ」は様子・外見を表す。 **find O+C** は「O が C だとわかる」という意味を表す。
-

D (1) How many students are there
(2) Keep this room clean for the party
(3) My sister left some melon for me
(4) The students talked about the project

- 解説 (1) 疑問詞 **how**+形容詞を使った疑問文。
(2) **keep O+C** で「O を C (の状態) にしておく」という意味を表す。
(3) **leave**+O (物) +前置詞 (for) +O (人) で「O (人) のために O (物) を残す」という意味を表す。
(4) talk は自動詞なので **about** をともなって、discuss は他動詞なので単独で「～について話し合う」という意味を表す。したがって、不要な1語(句)は discussed.

- E (1) Don't forget your[the] password / Remember your[the] password
 (2) My aunt found me a good part-time job.
 My aunt found a good part-time job for me.
 (3) (that) there is a beautiful river near my house
 (4) Who invited you to the party? — Tom did.

- 解説** (1) 否定の命令文は **Don't+動詞の原形** で表す。
 (2) 「O (人) に O (物) を見つける」は **find+O (人) +O (物)** または **find+O (物) +前置詞 (for) +O (人)** で表す。
 (3) 「～がある」は **there V+S ~** で表す。
 (4) 疑問詞 **who** を主語にして、後にそのまま動詞 (invited) を続ける。

LISTENING

- A (1) some Japanese (2) beauty, happiness (順不同) (3) play
-

解説 Welcome to ABC Highschool

Billy Hi! I'm William. Everyone calls me Billy. I'm from New Zealand. My teacher there taught me some Japanese. So I speak it a little.

Beautyhappiness My name is Miyuki. It means "beauty" and "happiness." My grandmother chose this wonderful name for me. Please call me Miyu.

Kazu I'm Kazuki. I played soccer at Sakura Junior High School. I'm on the soccer team here, too. I'll play in the Premier League someday. It's my dream.

- (1) Billy の 5 文目を参照。 (2) Beautyhappiness の 2 文目を参照。
 (3) Kazu の 4 ~ 5 文目を参照。
-

- B (1) aren't you (2) Where are you from (3) Tell me
 (4) Do you like (5) I went (6) Are you
-

和訳 対話を聞いて空所を埋めなさい。

- インタビュー : トム, あなたはエストニア出身ですよ。
 トム : はい。エストニアがどこにあるかご存じですか。
 インタビュー : はい, 調べましたよ。ロシアとフィンランドの近くにありますが。エストニアのどちらの出身ですか。
 トム : タリンです。海のそばにある, 古くて美しい町です。
 インタビュー : あなたの国についてもっと教えてください。
 トム : そうですね, エストニアには森がたくさんあります。自然がとても身近にあるのです。
 インタビュー : それなら, あなた方はアウトドア活動が好きですか。
 トム : はい, 多くのエストニア人が好きですよ。ぼくは釣りが本当に大好きです。
 インタビュー : 日本も釣りをするにはうってつけですよ。
 トム : 日本で釣りをしに行きたいですね。先週, ぼくは京都スタジオパークに行きました。そこでカッコいい忍者ショーを見ました。
 インタビュー : 日本の文化に興味がありますか。
 トム : はい, 相撲が大好きで, マンガにもはまっていますよ。